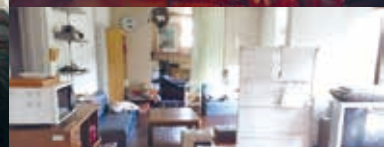
04

フリースクール
クレイン・ハーバー

学校に行ってる子も
行ってない子も
楽しく過ごそう！



フリースクール クレイン・ハーバー
フリースクール・夜間の居場所：長崎市昭和3丁目387-1
無 料 学 習 塾：長崎市恵美須町4-7長崎YMCAビル4F
フリースクール：月～金　9：30～17：00
（金曜のみ13：00迄）
夜間の居場所：月～木　17：30～21：00
無 料 学 習 塾：月～木　18：00～21：00
フリースクール：35,000円／月
夜間の居場所：　5,000円／月および食費・交通費（生活保護世帯は免除）
無 料 学 習 塾：無料
小学生～高校生　095-844-8899　crain_harbor@yahoo.co.jp
特定非営利活動法人 フリースクール クレイン・ハーバー

こども食堂　イベント　学習支援　フリースクール
遊び体験　子育て支援　フリースペース　あそび場

ホームページ

フリースクールと子どもの居場所

フリースクールクレイン・ハーバーは、不登校の子どもの学び・育ちの場として活動を始め20年が過ぎました。最初の頃に来ていた子は「昭和生まれ」、そして今は「平成生まれ」の子が来ています。そろそろ「令和生まれ」の子も来るだろうなぁと楽しみです。クレインは学ぶ場だけではなく、不登校の子が安心して自分らしくのびのびと、そしてゆっくりとくつろげる居場所でもあります。居場所としてもベースの上で様々な人と出会い、主体性や自己受容、意欲や他者理解を身につけています。そんな居場所での子どもの育ちは、時代が移っても変わらないでしょう。

フリースクールクレイン・ハーバーは

子どもの権利条約の理念を大切に安心安全な居場所であることに努めています。主体性を育むために、また子どもも大人もひとりの人として権利を尊重するために「ミーティング」を行っています。どんな活動をしたいとかこんなことを考えているという意見を子どもも大人も出し合えます。また、地域の様々な人との関わりや活動が活発なのもクレインの特徴です。森のおじさんの所では農作業や釣りやそば打ち、陶芸の窯元さんの所では薪割り、県民の森ではタケノコ堀りやクリスマス飾り作り等々、いろんなことを楽しんでいます。九州で水害が起きた年は被災地支援ボランティアに行きます。そのような機会では、子どもたちも社会の役に立てる自信と感謝しあう心を感じています。

夜間の子どもの居場所と無料学習塾

昼間のフリースクールの時間が終わると、ひとり親や共働きで子どもだけで留守番をしないといけない子どもを預かる夜間の居場所を開いています。夜間の子どもたちは宿題を済ませてみんなで夕食、そして思い思いに遊びます。時にはケンカしたりもしますが、助け合ったり理解し合うことを自然と身に付けています。夜間の預かりがあることで親御さんも安心して仕事ができたり、親子の会話の広がりもできているとのことです。夜間はもう一つ、中高生の無料学習塾も開いています。進学塾や個別指導塾に通う余裕のない家庭の子が自分のペースで学習し、わからないところをボランティアやスタッフに教えてもらっています。落ち着いて勉強できる場があるというだけでなく、無料学習塾も子どもの意思を応援する居場所になっています。

生き物といっしょに

クレインには猫とウサギがいて、子どもたちに大人気です。自宅ではペットを飼えない子もクレインの猫とウサギに癒されて、そして命の愛おしさを感じてくれているみたいで、やさしい表情で可愛がっています。

居場所として大切にしていること

居場所には、優しさを感じる「玄関」の機能、喧噪や暴風雨、暑さ寒さから守る安全な「壁」の機能、安心して自然体の自分でくつろげ人の温もりを感じる「居間」の機能が必要です。そして、「窓」の機能も必要です。窓がない家ではいくら壁が丈夫でも不安になりませんか？　外の様子や景色を見ることができるからこそ、外への関心が芽生えて社会とのつながりが始まります。「窓」には「カーテン」が必要です。「カーテン」には、外を見たくないときは閉め、外に関心をもったら開ける権利が保障されていなければなりません。もちろん、風を感じたかったら窓を開けて感じることもできます。これらの機能を備えている居場所で子どもは安心して育つのだと思います。

そして、居場所では子どもも大人も楽しく過せることが大切です。しかめっ面の大人がいるところでは、子どもは心が安らがないでしょう。子どもも大人も笑い合える、それを大切にしています。